

はじめに

近年の高齢化社会進展を背景として、全国的に救急出動件数が増加しています。白河地方においても例外ではなく、救急要請から病院収容までの時間も延伸傾向にあります。

高齢者施設からの救急要請は、緊急性が高い案件が多く、より迅速で適切な対応が必要です。しかし、案内人不在による救急隊接触の遅れや利用者に関する情報が不十分なことなどにより、結果的に救急対応や受入れ医療機関の選定に時間を要し、医療機関搬送までの時間が長くなってしまいうケースが散見されています。

円滑に緊急時対応を行うためには、施設と救急隊が共通の認識の下に対応に当たること、さらに普段から健康相談等のできる「かかりつけ医」を持つことや何かの時に相談や受診が可能な「協力病院」を持つことなど、もしもの事態になる前に対応できる体制を整えることが重要です。

そこで、施設内で緊急事態が起こった時に、緊急時対応を支援することで施設職員と救急隊の連携を円滑にし、傷病者の救命・予後改善に繋げるために本ガイドブックを作成しました。

緊急時に対する意識を高めていただき、利用者や家族が安心できる施設を目指して下さい。

目次

救急対応フローチャート	・・・・・・・・	1
119番通報要領	・・・・・・・・	2
基本的な救急対応の考え方	・・・・・・・・	3～5
救急情報シート（記入例）	・・・・・・・・	6～7
救急対応チェックリスト	・・・・・・・・	8～9